



医局だより

大阪プレストクリニック

宮川 義仁

乳腺科の医局といえば大学病院やがんセンターがほとんどだと思います。当院は診療所ですが、医局がありますのでご紹介いたします。大阪プレストクリニックは2005年9月、大阪市福島区に乳がん専門の有床診療所として開院いたしました。その後、検診施設、外来センターを設立し、2017年9月、外来、手術、薬物療法、放射線治療、病理部、リハビリテーション、検診機能を統合した新診療所を阪神野田駅近くに開院いたしました。手術件数は設立当初より徐々に増加し、2021年の1年間には779件の新規乳がん手術を行うことができました。患者さんの利便性を考慮し、2010年に奈良学園前に『大阪プレストクリニック学園前』を、2021年10月に大阪梅田に『大阪プレストク

リニックイーマ』を開院、ともに外来診察に特化しております。

医局の常勤医師は全体で16名おり、うち乳腺外科医が11名、病理医1名、放射線科医1名、形成外科医1名、婦人科医1名、麻酔科医1名が在籍しております。乳腺専門医は現在10名で、そのうち4名が指導医の資格を持っております。出身大学は様々で、特定の大学医局との結びつきはありません。年齢構成は70歳を越えるベテラン医師から30歳の若手医師まで幅広く、女性医師も4名在籍しています。3名の子育て中の女性医師には時短勤務等で外来、手術など通常業

務をこなしていただいております。

今まで当院には他施設で乳腺外科医として勤務していた医師が転職していましたが、2021年春に消化器外科専門の卒後6年目の先生が転職いたしました。1年経過せずに乳腺の外来、手術を任せられるようになり、現在は薬物療法の勉強にも取り組んでもらっています。

勤務時間は朝8時30分からで、術後患者さんの回診から始まります。その後8時45分から朝礼、9時から外来診察が始まります。外来診察は

月曜日から土曜日まで4ないし5診体制で行っております。手術室は2室あり、手術日は月、火、木の週3日で、手術は1日に4-7例行っています。術前カンファレンスと術後のカンファレンスが週に1回ずつあり、月1回、



再発カンファレンスを行っております。

医師以外にも様々な職種のスタッフが在籍しています。看護師が35名、うち乳癌の認定看護師、化学療法認定看護師、緩和医療の認定看護師がそれぞれ1名ずつ、クラークが12名在籍しています。病理部には細胞検査士が5名常勤であり、理学療法部(リンパ浮腫・手術後の上肢挙上制限の緩和)には常勤で5名が在籍しています。薬剤部には薬剤師が6名常勤しており、化学療法のミキシングのほか、患者さんの利便性と経済性を考慮して調剤は院内で行っております。医療技術部は診療放射線技師20名で、医学物

医局だより

理士も2名(うち非常勤1名)在籍しています。臨床検査技師は6名おり、主に超音波検査を担当しています。以上のような多職種の職員で乳癌診療のチーム医療を行っています。

化学療法室には化学療法用のチェアを14備え、術前、術後、転移、再発のあらゆる化学療法を行っています。がん化学療法認定看護師が常駐し、テセントリク、キートルーダのような免疫チェックポイント阻害剤からdose dense療



法まで幅広く施行しています。

当院でも遺伝子検査の保険適応症例拡大とともに遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)と診断される患者さんが増えており、そういった患者さん、ご家族さんには認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを受けていただいております。

乳がん手術以外に再建手術も積極的に行っています。2021年はテッシュエキスパンダーによる同時再建を106件、インプラント入れ替え手術を68件行うことができました。

その他、リニアック装置による術後放射線治療も行っており、有床診療所で『クリニック』ではありませんが、総合病院に負けない乳がん診療をご提供できていると自負しております。